

だいじ
第8次

やまとしそうごうけいかく
大和市総合計画

ばん
ダイジェスト版

Japanese
with ruby
日本語ルビ

健康創造都市 やまと

けんこうそうごうとし



YAMATO CITY GENERAL PLAN 2009-2018

「健康創造都市 やまと」を目指して



大和市が昭和34年に市制を施行してから、本年で50年という節目の年を迎えました。

この50年の間、本市では、昭和35年策定の第1次大和市総合計画をはじめとして、その時々々の社会経済状況を反映しながら、総合計画を改定し、これらに沿って計画的なまちづくりを進めてきました。

昨今の我が国を取り巻く状況は、少子高齢化の急速な進展、経済情勢の悪化、地球規模での環境問題の深刻化など、これまでにない混沌とした様相を呈しています。

こうした社会的不安が大きくなっていく中で、市民の声に真摯に耳を傾け、多様化していく市民ニーズに応えるとともに、市民の暮らしを守り、支えるという基礎自治体としての責任を全うするため、「健康創造都市 やまと」を将来都市像とする第8次大和市総合計画を策定いたしました。

この計画は、市民が心身ともに健康に暮らしていくための「人の健康」、市民が安全と安心を感じられる「まちの健康」、地域コミュニティが充実し、豊かな人間関係が育まれる「社会の健康」の三つの「健康」づくりを推進することにより、都市そのものを健康にしていけるための大きな指針として策定したものです。

今後は、この計画に位置づけた施策を、事業の選択と集中、成果志向の視点に立って、着実に推進し、大和のさらなる飛躍と発展を目指してまいりますので、市民の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたりまして、ご尽力を賜りました総合計画審議会委員並びに市議会議員の皆様をはじめ、市民意見交換会や市民アンケート調査などを通して、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

平成21年8月

大和市長 大木 哲



第8次

大和市総合計画 YAMATO CITY GENERAL PLAN 2009-2018

健康創造都市 やまと

このダイジェスト版は、「第8次大和市総合計画」で実施していくまちづくりをご理解いただくため、より分かりやすく、より身近なスタイルに再編集したものです。

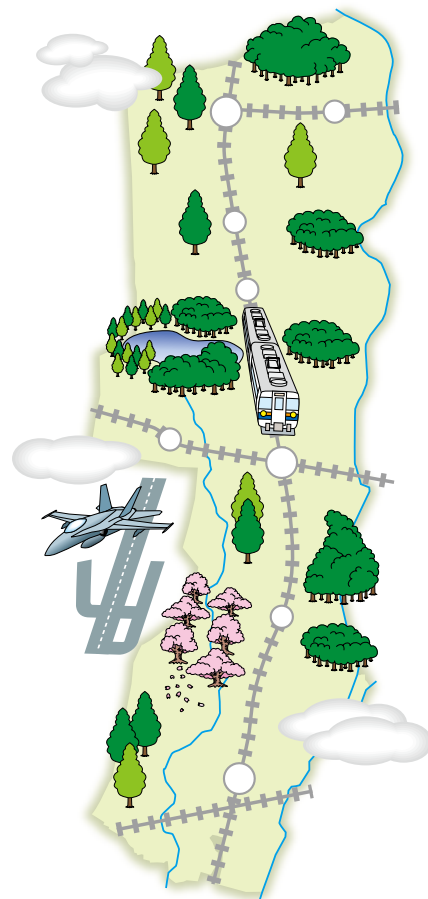
詳しい内容については、総合計画書及び実施計画書をご確認ください。



総合計画とは、市の最も上位となる計画で、大和市が描く将来都市像から具体的な事業までを体系的に示したものです。市が行っている仕事は全て、この計画に基づいて実施されています。

CONTENTS

将来都市像と3つの健康領域	3
総合計画の体系	4
「人」の健康	
基本目標 1 一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち	5
基本目標 2 子どもが生き生きと育つまち	7
「まち」の健康	
基本目標 3 安全と安心が感じられるまち	9
基本目標 4 環境を守り育てるまち	11
基本目標 5 快適な都市空間が整うまち	13
「社会」の健康	
基本目標 6 豊かな心を育むまち	15
基本目標 7 市民の活力があふれるまち	17
目標の実現に向けて	19
総合計画の構成と期間	21
大和市のデータ	22



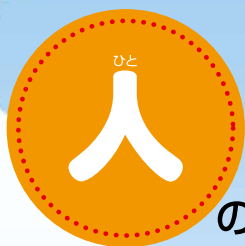
将来都市像と 3つの健康領域

市民が心身ともに健康で幸せに暮らすことのできるまちとなるために、
大和市は「健康創造都市 やまと」を目指します。

この将来都市像の実現に向けた市政の基本的な考え方として、
「人」、「まち」、「社会」の3つの健康領域を掲げ、その具現化を図っていきます。

「健康創造都市」とは？

健康の観点から「人」、「まち」、「社会」が
互いにかかわりあい、健やかで康らかな
生活をもたらす都市です。



人の健康

心身ともに健康で、また、なんらかの障がいなどがあっても、元気で生き生きとした暮らしを営むことができる市民を増やそうという健康の領域です。

この領域では、「一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち」、「子どもが生き生きと育つまち」を基本目標として掲げ、「人の健康」づくりを推進します。



まちの健康

生活や活動の場であるまちに着目し、市民の安全で快適な生活を阻害するまちの中の要因を取り除き、良好な都市空間を整えていこうという健康の領域です。

この領域では、「安全と安心が感じられるまち」、「環境を守り育てるまち」、「快適な都市空間が整うまち」を基本目標として掲げ、「まちの健康」づくりを推進します。



社会の健康

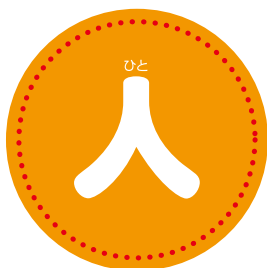
人と人とのつながりが創り出すコミュニティを充実させながら、互いに認め合う豊かな人間関係を育み、活力に満ちた地域社会を築いていこうという健康の領域です。

この領域では、「豊かな心を育むまち」、「市民の活力があふれるまち」を基本目標として掲げ、「社会の健康」づくりを推進します。

総合計画の体系

将来都市像 「健康創造都市 やまと」

3つの健康領域 ▶ 基本目標 ▶ 個別目標



個人の健康

基本目標 1

一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち

個別目標 1-1 心身の健康を維持・増進する

個別目標 1-2 いつでも必要な医療が受けられる

個別目標 1-3 支えあいによる地域福祉を推進する

基本目標 2

子どもが生き生きと育つまち

個別目標 2-1 子どもの健康と安全を守る

個別目標 2-2 子どもの生きる力を育む

個別目標 2-3 子どもを育てやすい環境をつくる

基本目標 3

安全と安心が感じられるまち

個別目標 3-1 生活の安全性を高める

個別目標 3-2 災害への対応力を高める

個別目標 3-3 航空機による被害を解消する

基本目標 4

環境を守り育てるまち

個別目標 4-1 環境への負荷を減らす

個別目標 4-2 まちの緑を豊かにする

基本目標 5

快適な都市空間が整うまち

個別目標 5-1 快適な都市の基盤をつくる

個別目標 5-2 移動しやすい都市をつくる

基本目標 6

豊かな心を育むまち

個別目標 6-1 いつでも学べる場と機会を充実する

個別目標 6-2 大和の文化を守り育てる

基本目標 7

市民の活力があふれるまち

個別目標 7-1 互いに認め合う社会をつくる

個別目標 7-2 にぎわいのある地域をつくる

個別目標 7-3 地域活動・市民活動を活発にする



まちの健康



社会の健康

目標の実現に向けて（行政経営の方針）

方針 1

分かりやすい行政経営

相互理解に基づく行政経営／目標設定による行政経営

方針 2

即応性の高い行政経営

健全な財政運営／市民ニーズをとらえた組織づくり／
公共施設・公有資産の適正管理

方針 3

人財を活かした行政経営

職員の能力向上／適材適所の職員配置

基本目標

1

一人ひとりがいつまでも 元気でいられるまち

高齢者の人口が急速に増加し、また、長寿化が進む中で、人々の健康志向が高まっています。その一方で、食生活や生活環境の変化により生活習慣病を抱えたり、生活の中の様々なストレスから心身のバランスを崩してしまったりする人が増えています。

市民一人ひとりが元気に暮らしていくためには、主体的に健康づくりに取り組む意識をもつことが重要です。

大和市は、一人ひとりが心身の健康を保つことができるよう様々な支援を行うとともに、病気やけがをしたときには、安心して医療を受けられる環境を整えていきます。

また、困ったときに助け合う仕組みや、必要に応じて公的サービスを利用できる制度が整っているなど、誰もが地域の中で充実した生活を送ることのできる環境づくりにも取り組んでいきます。

大和市は「健康創造都市」の実現に向けて、一人ひとりがいつまでも元気でいられるまちづくりを推進します。



トピックス
TOPICS

やまと いきいき 健康体操にチャレンジ!

皆さんは、「やまと いきいき健康体操」をご存知ですか。

この体操は、要介護状態になる大きな要因である骨折・転倒などを予防するために、大和市と東海大学が協働で開発したものです。

本市で毎年、開催される阿波踊りを意識した動きも取り入れられており、誰もが無理なく、運動習慣を身につけられる工夫がされています。健康づくりに向けて、皆さんも「まずはできることから」始めましょう。

個別目標

1-1

心身の健康を維持・増進する

この目標で「めざす成果」

1 市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる

2 心身の健康を維持するための体制が整っている

こんな事業を実施します

健康づくり普及啓発事業、食生活改善支援事業、健康診査事業など

食品衛生管理支援事業、自殺対策事業など

個別目標

1-2

いつでも必要な医療が受けられる

この目標で「めざす成果」

1 いざというときに診療を受けられる

2 市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている

こんな事業を実施します

休日夜間急患診療所運営支援事業、夜間診療所運営支援事業など

市立病院運営事業

個別目標

1-3

支えあいによる地域福祉を推進する

この目標で「めざす成果」

1 お互いに助け合う地域の関係ができている

2 必要な介護サービスの支援を受けられる

3 高齢者が生き生きと暮らしている

4 障がい者が地域の中で自立した生活を送っている

こんな事業を実施します

民生委員児童委員活動支援事業、社会福祉協議会運営支援事業、保険給付事業（国民健康保険）など

介護保険運営管理事務、保険給付事業（介護保険）、介護保険事業者指定・指導等事務など

老人福祉施設建設等支援事業、高齢者見守り事業、介護予防一般高齢者施策事業など

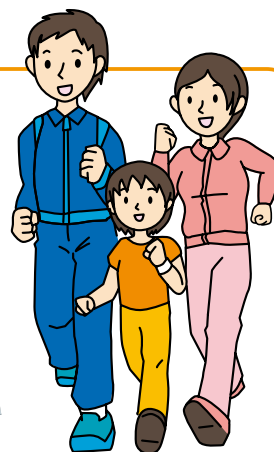
ホームヘルプ事業、地域生活援助事業、施設通所事業、児童デイサービス事業など

トピックス
TOPICS

大和市ウォーキングマップを使って、健康づくり

ウォーキングは、健康づくりに大変効果的で、誰もが手軽に楽しめる運動です。「大和市ウォーキングマップ」には、歩行時間や歩行距離、エネルギー消費量、ウォーキング前後に欠かせないストレッチの方法が書かれているほか、トイレの場所やコミュニティバスのバス停なども掲載されています。

また、ルートを示した地図には、階段が急な場所や車の通りが多い場所の表示、彼岸花や芝桜の群生地などの案内、神社、仏閣などの名所の紹介もしています。



基本目標

2

子どもが生き生きと育つまち

近年、全国的に少子化が進んでいます。このことは、これまで若い世代が多いとされてきた大和市においても同様です。

核家族化や地域コミュニティの希薄化などが進む中で家庭における子育ての力の低下が指摘されています。家庭だけでなく地域全体で子どもの心身の健康と安全を守る取り組みを進め、子どもの健全な成長を支えていくことが大切です。

様々な生活経験や自然体験をする機会が減少している中で、子どもの生きる力が低下しているといわれています。

大和市は、家庭や地域、学校、関係機関と連携を図りながら、子どもの個性を伸ばし、可能性を広げる教育と、様々な体験の場を提供することによって、子どもが夢や目標をもって着実に成長できる環境をつくっていきます。

また、子育て中の家庭の孤立感や不安感を解消するために、多面からの支援を行い、安心して子育てができる環境を整備していきます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、発達に合ったきめ細かな施策を展開し、子どもが生き生きと育つまちづくりを推進します。



トピックス

親子料理教室に参加して、食の大切さを学ぼう



大和市では、家庭と学校が連携して、食を通じて健康教育を進めるために、親子で学校給食のメニューをつくる夏休み親子料理教室を毎年開催しています。

この料理教室は、調理実習や学校給食についての講話を通じて、給食への理解を深めるとともに、食や健康について考える場として実施しています。日頃食べ慣れている給食のメニューを親子が協力してつくすることで、単にコミュニケーションを深めるだけでなく、家庭の食生活を見直すきっかけにもなっているようです。

トピックス

学校で遊ぼう!! ~放課後子ども



個別目標

2-1

子どもの健康と安全を守る

この目標で「めざす成果」

1 子どもの心身の健康が保たれている

2 子どもの人権と安全な生活環境が守られている

こんな事業を実施します

妊婦健康診査事業、予防接種事業、乳幼児健康診査事業、
学校給食調理場運営事業など

小・中学校施設維持管理事業、児童生徒安全対策事業、
青少年相談・街頭補導事業など

個別目標

2-2

子どもの生きる力を育む

この目標で「めざす成果」

1 子どもが夢や目標をもって学んでいる

2 子どもが個性・能力にあった教育を受けている

3 子どもが様々な体験をしながら育っている

こんな事業を実施します

学校図書館施設整備事業、いじめ・不登校等対策事業、
小・中学校行事等支援事業など

小・中学校少人数指導等非常勤講師配置事業、
特別支援教育推進事業、英語教育推進事業など

児童館管理運営事業、放課後子ども教室管理運営事業、
青少年育成事業など

個別目標

2-3

子どもを育てやすい環境をつくる

この目標で「めざす成果」

1 安心して子育てをしている

2 働きながら子育てができている

こんな事業を実施します

子育て支援センター運営事業、小児医療費助成事業、
私立幼稚園就園支援事業、児童手当支給事業など

保育事業、民間認可保育園運営支援事業、
放課後児童クラブ事業など

TOPICS

大和市つどいの広場「こどもーる」へ集合！



大和市では、親と乳幼児が気軽に集まれる場所として「こどもーる」を「つきみ野サティ」と「イオンモール大和」に設置しています。運営については、NPO法人にそれぞれ委託し、常時2名の子育てアドバイザーが、子育て相談、子育て情報の提供、さまざまな講習会や読み聞かせなど、子育て中の親子をサポートしています。リピーターも多く「買い物のついでに寄りやすい」との評判も。

開所時間は午前10時から午後6時（イオンモール大和内は週7日、つきみ野サティ内は月曜日～金曜日の週5日の開所）です。

基本目標

3

安全と安心が感じられるまち

日常のあらゆる場面で安全、安心を確保することは、市民生活を送るために不可欠な条件です。そのために、犯罪、交通事故、消費生活上のトラブルなどに的確な対策を講じ、これらを軽減していくことが必要です。

いつ発生するのか分からない自然災害に対しては、建物の防災性を高め、安全な避難場所や避難路の確保、治水対策など、災害に強いまちづくりを進めるとともに、危機管理体制の充実を図ります。さらに、市民一人ひとりが適切に判断、行動できるよう、防災意識を醸成するための取り組みを充実していきます。

また、厚木基地に関わる航空機の騒音、墜落事故の不安は、長年にわたって市民生活に影響を及ぼしてきました。これらの解決についても粘り強く取り組んでいきます。

やまと市は、「健康創造都市」の実現に向けて、日常時だけでなく災害時においても市民の生命や財産を守り、安全と安心が感じられるまちづくりを推進します。



トピックス

青パト公用車が市民の皆さんを見守っています

やまと市が所有する車両(公用車)に青色回転灯を装着した青パトが、市内の犯罪を1件でも減らそうと市内を巡回しているのをご存知ですか。中には白黒の塗装を行い、一見警察のバトカーと見間違えてしまう青パトも走っています。

青パトは、広い範囲のパトロールが可能で、青色の回転灯が遠くからも目立つことから、犯罪の抑止効果が高いと言われています。

市民の皆さんが安全と安心に感じられるまちの実現に向け、多くの青パトが市内を走り回り、犯罪が起きにくいまちづくりを推進します。

個別目標

3-1

生活の安全性を高める

この目標で「めざす成果」

- 1 犯罪の不安を感じることなく暮らしている
- 2 安心して消費生活を送っている
- 3 交通事故の不安を感じることなく暮らしている

こんな事業を実施します

地域防犯活動推進事業、防犯灯整備支援事業、
(仮称)市営交番整備運営事業など

消費生活相談事業、消費者啓発事業、
市民相談支援事業など

交通安全啓発事業、交通安全総点検事業、
交通安全施設整備事業、歩道セーフティアップ事業など

個別目標

3-2

災害への対応力を高める

この目標で「めざす成果」

- 1 災害に対する危機管理体制が整っている
- 2 災害に対して強いまちになっている
- 3 十分な消防力が整っている

こんな事業を実施します

災害対策本部運営事業、要援護者支援対策ネットワーク事業、
防災備蓄品等整備事業、地域防災訓練事業など

道路橋改修事業、建築物の耐震化促進事業、
雨水管整備事業など

救急・消防活動事業、消防車両整備事業、
住宅防火対策事業、応急手当普及啓発事業など

個別目標

3-3

航空機による被害を解消する

この目標で「めざす成果」

- 1 航空機による被害のない生活を送っている

こんな事業を実施します

基地対策渉外・要請等活動事業、騒音測定事業など

トピックス

自主防災力の向上を目指して

大規模な災害においては、交通網の寸断、建物の倒壊、火災などの被害が甚大かつ深刻になることが予想され、このような災害に消防、市役所などの公共機関だけで対応することには限界があるものと考えられます。そのようなときに力を発揮するのが、地域ぐるみの協力体制です。過去の災害でも、地域の皆さんが救出・救護活動を行うことで、多くの人命が救われました。今後も大和市では防災協力員研修、自主防災会長研修会等を開催し、自主防災力の向上に力を注いでいきます。



トピックス

尊い命を救うAED

心室細動と言う言葉をご存知ですか。

心室細動とは、心臓がけいれんすることによって正常な働きを失った状態になる不整脈の一つで、発症から1分経過することにより救命率が7～10%ずつ低下すると言われています。

大和市では、このけいれんを取り除くためのAED（自動体外式心臓動脈圧測定器）を公共施設に64台設置しました。今後は、AEDを設置している民間の施設に「やまとAED救急ステーション」として協力をお願いし、市民がいち早くAEDを使える環境を整えていく予定です。



基本目標

4

環境を守り育てるまち

地球の資源には限りがあります。これまで人々は、大量生産、大量消費、大量廃棄を行ってきましたが、その結果、資源の枯渇や環境汚染などを引き起こし、今ではこの問題は地球規模へと拡大しています。特に、地球温暖化の防止については、行政だけでなく、市民一人ひとりや事業者が積極的に取り組まなければならない課題です。

大和市は、水や空気をきれいにし、ごみの減量化、資源化を進めるとともに環境教育を推進するなど、環境への負荷軽減に配慮した取り組みを今まで以上に積み重ねていきます。

また、緑は生活にうるおいを与え、その保全は地球温暖化の防止にも効果的です。市内に残る貴重な緑地や農地を適切に守っていくとともに、まちの中に身近な緑を増やしていきます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、環境への負荷を減らし、緑を大切にする、環境を守り育てるまちづくりを推進します。



個別目標

4-1

環境への負荷を減らす

この目標で「めざす成果」

1 ごみの減量化、資源化が進んでいる

2 河川の水質が向上している

3 生活を脅かす環境要因が改善されている

4 環境に配慮して行動している

5 ごみのない清潔なまちが維持されている

こんな事業を実施します

ごみ減量化推進事業、資源分別回収推進支援事業、
焼却灰等有効利用事業、塵芥収集事業など

合流改善事業（処理場）、下水道整備推進事務、
下水処理場改築・更新事業など

公害対策調査事業、公害防止啓発・指導事業など

環境意識啓発事業、電気自動車普及啓発事業など

路上喫煙防止対策事業、不法投棄物未然防止事業など

個別目標

4-2

まちの緑を豊かにする

この目標で「めざす成果」

1 緑地が保全され、まちの中の緑化が進んでいる

2 身近な農地が大切にされている

こんな事業を実施します

緑地保全事業、大規模緑地整備事業、
緑化推進支援事業など

農業経営基盤強化促進事業、市民農園支援事業など

トピックス
TOPICS

電気自動車 走り始めます



未来の車、電気自動車がついに走り始めます。
排気ガスをいっさい排出しないクリーンな電気自動車は、
地球温暖化防止の切り札として大きな期待が寄せられていま
す。環境に配慮した取り組みとして、大和市でも電気自動車を
1台導入します。さらに市庁舎駐車場に急速充電設備を設置
し、今後、電気自動車を購入される個人の方にも、無料で充電
していただける環境を整えます。

導入後は公用車としての利用のほか、各種イベントでの体
験乗車等により皆さんに広く知っていただくとともに、小中学
校での環境教育にも役立てていく予定です。

※写真の車体及び急速充電器のデザインはイメージです。

トピックス
TOPICS

大和市民農園で野菜づくり

市民農園とは、まちの中の農地を利用して、市民の皆
さんが野菜や花を育てるための農園のことです。大和市
では、市民の方々が農作業を通じて、緑や土と親しみな
がら、農業への理解を深めていただけるよう、こうした市
民農園を市内19ヶ所に設置しています。

現在、約1,000人の方々が利用しており、利用者は「自
分で育てた野菜を食べるため」、「自然と触れ合うため」、
「健康のため」など様々な理由で野菜づくりを楽しんで
います。市民農園は、毎年2月頃に申し込みを受け付け
ています。皆さんのご参加をお待ちしています。



基本目標

5

快適な都市空間が整うまち

市民が生き生きと暮らし、活動するためには、まちの快適さと利便性を高めることが必要です。計画的な市街地や道路交通網の整備を進め、公園など身近にゆとりのある空間を配置するとともに、景観に配慮した良好なまち並みを形成します。その結果、都市としての魅力が高まり、市民のまちへの誇りと愛着が生まれます。

また、高齢者や障がいのある人も含めて、すべての人が安心して移動し、快適に生活できるように、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを進めます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、地域の特性を活かし、快適な都市空間が整うまちづくりを推進します。



トピックス
TOPICS

ゆとりの森へ来てみませんか？



ゆとりの森とは、スポーツとレクリエーションの場として、厚木基地の南側に整備している18.7haの大きな公園です。現在は、少年サッカーなどに利用できる「芝生グラウンド」や、広大な芝生斜面とせせらぎから成る「修景池ゾーン」などがオープンしており、休日には多くの人で賑わっています。中でも白い山型トランポリンの上でとんだりはねたりできる「ふわふわドーム」は、たくさんの元気な子どもたちでいつも大盛況です。

今後は、公園の中心的な施設となる「センター施設」や、様々な遊具が楽しめる「わんぱく広場」、「多目的スポーツ広場」、「テニスコート」、「バーベキュー場」などの施設を随時設置していく予定です。



個別目標

5-1

快適な都市の基盤をつくる

この目標で「めざす成果」

- 1 市街地の整備が計画的に進んでいる
- 2 道路や公園を快適に利用している
- 3 良好なまち並みが形成されている

こんな事業を実施します

渋谷(南部地区)土地区画整理事業、
土地区画整理支援事業など

道路施設維持管理事業、道路舗装補修事業、
公園維持管理事業、ゆとりの森整備事業など

景観形成推進事業、特定地域土地利用誘導事業、
建築確認事務など

個別目標

5-2

移動しやすい都市をつくる

この目標で「めざす成果」

- 1 まちの中を快適に移動している

こんな事業を実施します

コミュニティバス運行事業、地域公共交通施策事業、
放置自転車対策事業など

トピックス

大和らしい魅力ある景観を 創造していくために

大和市では、2008年(平成20年)に景観計画と
景観条例を策定し、良好な景観形成を推進してい
ます。「歩けるまち」としての特徴を生かし、歩く人
の目線を大切にすることと「身近な緑を楽しめる
まち」を目指すことを市の景観づくりの視点とし、
身近な生活景観を豊かにする取り組みを行って
います。

大和らしい魅力ある景観を創造し、市民の共有
財産として次代に引き継いでいくため、皆さまの
ご理解とご協力をお願いします。

- 1 大和駅前広場とプロムナード
- 2 つきみ野の街並みと緑
- 3 林間都市開発の面影を残す街並み(中央林間)
- 4 上和田野鳥の森
- 5 下和田の水田風景



基本目標

6

豊かな心を育むまち

学ぶことや創ることの喜び、スポーツで身体を動かしたときの爽快感や充実感、美しいものに触れたときの感動は、人々の心にゆとりとうるおいをもたらします。

大和市では、次代を担う子どもから高齢者まで、多くの市民が生涯学習やスポーツに親しみ、芸術、文化活動を楽しんでいます。これらの活動は個人の生活の質を向上させるばかりでなく、心身の健康とも密接な関わりがあるといわれています。

また、芸術、文化活動の高まりは、これまで築きあげてきた歴史と固有の文化とともに、大和の新しい文化を形づくり、市民の創造性と豊かな感性を育みます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、生涯学習やスポーツ、芸術、文化活動を一層活発にしていき、豊かな心を育むまちづくりを推進します。



個別目標

6-1

いつでも学べる場と機会を充実する

この目標で「めざす成果」

- 1 生涯学習に取り組む人が増えている
- 2 スポーツを楽しむ人が増えている

こんな事業を実施します

講座等開催事業、学習センター施設維持管理事務、
図書資料貸出事業など

スポーツ教室開催事業、スポーツ施設管理運営事業、
スポーツ大会開催事業など

個別目標

6-2

大和の文化を守り育てる

この目標で「めざす成果」

- 1 多様な芸術や文化が育っている
- 2 郷土の文化がしっかりと引き継がれている

こんな事業を実施します

文化芸術振興事業、
(仮称)やまと芸術文化ホール調査研究事業など

文化財保護事業、つる舞の里歴史資料館運営事業、
地域歴史資料整理・保存事業など

トピックス

やまと市民大学

市民の専門的で高度な学習意欲に応えるため、やまと市民大学を開催しています。健康などに関する「人間を知るコース」、大和市の歴史に関する「大和を知るコース」、今を考える「現代を知るコース」の3コースを設定し、多彩な講師をお招きして、多くの市民の方々に生涯学習の場を提供しています。



トピックス

「つる舞」で身近な歴史を探ってみよう

つる舞の里歴史資料館は、日本最古の土器片をはじめとして、市内で発見された旧石器時代から現代にいたるまでの貴重な資料を数多く収蔵しています。

秋深まるころに開催する企画展では、毎年テーマを設定して、普段見ることができない貴重な資料を展示します。会期中は、企画展に関連した講演会や講座も行いますので、より知識を深めていただくことができます。また、毎月第4土曜日は「つるまい土曜講座」として、大和の歴史や自然に関する楽しい講座を行っています。

ぜひ、つる舞の里歴史資料館で身近な歴史に触れ、地域史を見直してみましよう。



トピックス

自由に参加！ スポーツフェスタ

スポーツセンター体育会館と競技場を会場に、「スポーツフェスタ」を開催しています。様々なニュースポーツの体験コーナーや体力テスト、健康増進コーナー、キッズコーナーなど、全て自由に参加することができ、一日中楽しむことができるイベントです。老若男女、親子や友達同士では是非参加してみてください。体育会館の中や競技場内に入ったことのない人も出入り自由なので、必見です。



基本目標

7

市民の活力があふれるまち

大和市の人口推移は微増の状態にありますが、将来は、減少傾向に転じることが見込まれ、市全体の活力の低下につながることも考えられます。こうした中で、今後も活力を維持し、高めていくためには、人々の交流や活動を活発にしていくことが必要です。

人々がお互いを認め合い尊重し合う中で、良好な人間関係が形成されることは、地域の活力を高めていくために非常に重要です。大和市には多くの外国人が居住しており、国籍を越えた活発な交流による相互理解を深めていくことも大切です。

商店街や企業などの活発な経済活動は、人々を呼び込み、地域に活気とにぎわいをもたらします。また、大和市の魅力を内外にアピールすることは、さらなる交流人口の拡大につながります。

さらに、市民一人ひとりが地域活動や市民活動に参加し、各々の力を出し合うことで、地域の活力が高まります。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、人と人とのつながりを広げ、様々な活動が行われる、市民の活力があふれるまちづくりを推進します。



トピックス

韓国・京畿道光明市と 友好都市提携を締結

2009年(平成21年)
11月、大和市は韓国・

京畿道(キョンギド)光明(クワンミョン)市と海外の都市とは初めて友好都市提携を締結します。

海外友好都市との提携により、文化、スポーツ、学術、産業等幅広い分野での交流を盛んに行い、市民相互の国際理解と友好をさらに深めていきます。

【光明市の概要】

「光明」とは日と月がよく差すという意味。

人口約31万人 面積38.5km²

首都ソウル特別市の南西に隣接し、ソウル市街地及び金浦(キムポ)空港からは車で約40分の位置にある。



クワンミョン市 光明市の風景

トピックス

個性あふれる 商品づくりのために

大和市では、商業活性化事業の一つとして、2007年度(平成19年度)から連携型チャレンジ事業を展開しています。

この事業は、個性的な商品や地域に密着した新規サービスの開発を行う2名以上の事業者で組織されるグループなどに対し支援を行い、地域商業を個性化することで活性化を図ろうとするものです。これにより、高座渋谷地区のコンコン焼きや中央林間シチュー、下鶴間・つきみ野地区で収穫したしそを使ったゼリーなどのオリジナル商品が生みだされています。



中央林間シチュー

個別目標

7-1

互いに認め合う社会をつくる

この目標で「めざす成果」

- あらゆる差別がなくすべての人が、互いの人権を尊重し合っている
- 男女共同参画が実感できている
- 地域の中で多文化共生が行われている

こんな事業を実施します

人権啓発事業、人権相談支援事業など
男女共同参画意識啓発事業、男女共同参画プラン策定・管理事業など
国際化推進事業、海外友好都市交流事業など

個別目標

7-2

にぎわいのある地域をつくる

この目標で「めざす成果」

- 商店街や企業が活発に活動している
- 市内で働く人が増え、生き生きと働いている
- 地域農産物の消費が安定的に行われている
- 「大和」に多くの人が訪れている

こんな事業を実施します

大和商工会議所運営支援事業、商業振興活性化事業、中小企業事業資金支援事業など
若年者就労支援事業、勤労者サービスセンター支援事業など
農産物消費拡大推進事業、市民朝霧市支援事業など
観光促進支援事業、大和市民まつり支援事業など

個別目標

7-3

地域活動・市民活動を活発にする

この目標で「めざす成果」

- 地域の活動が活発に行われている
- 公共を担う市民や事業者が増えている

こんな事業を実施します

自治会活動支援事業、コミュニティセンター管理運営事業など
市民活動推進事業、市民活動センター管理運営事業など

トピックス

あなたの思いが、地域を動かす力です～協働事業等提案制度

協働事業等提案制度は、「地域を良くしたい」、「住み良いまちにしたい」というあなたの思いをカタチにするための制度です。

大和市では、移送サービスや子育て支援、青少年健全育成、市民活動支援など多くの協働事業を展開しています。協働事業の提案は、毎年4月中旬から1ヶ月間、募集を行っています。あなたの持っている力と行政が持っている力を合わせて、地域の課題を解決していきましょう。



目標の実現に向けて

先行きが不透明な経済状況、急速な高齢者の人口増加と少子化の進行など、近年の地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。また、市民ニーズは多様化する傾向にあり、今後、こうした様々な行政需要に効果的に対応していくためには、市民に信頼される、質の高い行政経営が求められています。

大和市は、市民の視点にたった「分かりやすい行政経営」、時代の変化に迅速に対応する「即応性の高い行政経営」、職員の意識改革から始まる「人財を活かした行政経営」を行政経営の方針として、目標の実現に向けて取り組んでいきます。



トピックス

有料広告を募集しています

大和市では、少しでも多くの自主財源を確保するため、広報やまとはじめ、有料指定み袋や市ホームページ、市が発行する冊子や車両等への有料広告の掲載を募集しています。

広告料収入は、冊子類の印刷費や車両の整備費にあてるなど、有効に活用しています。今後も自主財源の充実に図り、市民サービスの向上につなげるよう努めていきます。

方針 1

分かりやすい行政経営

個別の方針

1 相互理解に基づく行政経営

2 目標設定による行政経営

こんな事業を実施します

情報公開推進事業、広聴活動事業、
広報やまと発行事業、議会对応事務など

総合計画進行管理事業、健康都市推進事業、
行政評価実施事業など

方針 2

即応性の高い行政経営

個別の方針

1 健全な財政運営

2 市民ニーズをとらえた組織づくり

3 公共施設・公有資産の適正管理

こんな事業を実施します

予算編成事務、税制管理事務、滞納整理・処分事務など

行政改革推進事業、組織見直し・定数管理事務、
職員採用事務、ワンストップサービス推進事業など

市庁舎維持管理事業、普通財産管理運用事業、
庁内自動車維持管理事務など

方針 3

人財を活かした行政経営

個別の方針

1 職員の能力向上

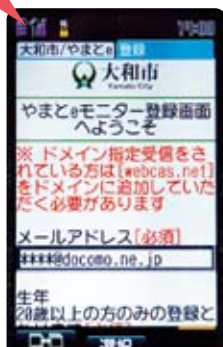
2 適材適所の職員配置

こんな事業を実施します

職員研修事業、職員自己啓発支援事業、
職員提案事業など

人事評価・配置事務、職員健康管理事務など

トピックス TOPICS



皆さんの声をお聞かせください! ~やまとeモニター

「やまとeモニター」は、お持ちのパソコン・携帯電話から市民の皆さんにモニター登録をしていただき、インターネットを利用して、市政に関するアンケートに回答していただくシステムで、2008年（平成20年）4月から稼働しています。アンケート結果は市の様々な施策や事業の参考とさせていただいており、市では、今後も、できるだけ多くの市民の皆さまの声を聴いていきたいと考えています。

登録は市のホームページやQRコードから簡単にできます。時間や場所を選ばず、市政に対し手軽に意見を表明することができる手法です。ぜひ、皆さまのご登録をお願いします。

登録はQRコードから、または yamato.e-moni@webcas.net へメールを送信!



総合計画の構成と期間

計画の構成

第8次大和市総合計画は、大和市の将来都市像とそれを実現するための長期的な考え方を示す基本構想、これに基づいて施策の方向を示す基本計画、さらには、具体的な事業を盛り込んだ実施計画の3層構造で構成します。

計画の期間

社会の変化に迅速、かつ柔軟に対応していくためには、総合計画はできるだけ現実性のある期間を設定することが必要であるため、基本構想の期間は10年、基本計画は5年としています。実施計画の期間は3年とし、毎年見直しを行います。

基本構想

本市の将来都市像とそれを実現するための長期的な考え方などを示します。

10年間

5年間

基本計画

基本構想に掲げた目標を実現するための個別の目標やめざす成果などを示します。

3年間

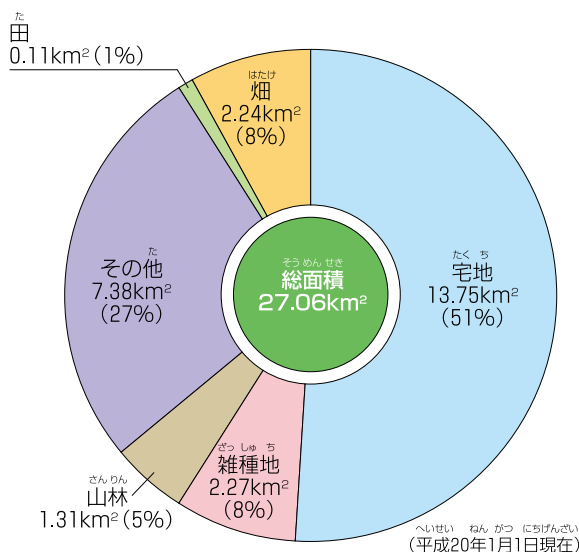
実施計画

めざす成果を達成するための施策の展開と具体的な事業を示します。

大和市のデータ

地勢・位置

- 極東 東経139° 28' 45" 極南 北緯35° 25' 11"
- 極西 東経139° 25' 36" 極北 北緯35° 31' 02"
- 海拔 市役所位置71m 最高90m 最低30m
- 面積 27.06km² 東西3.22km 南北9.79km



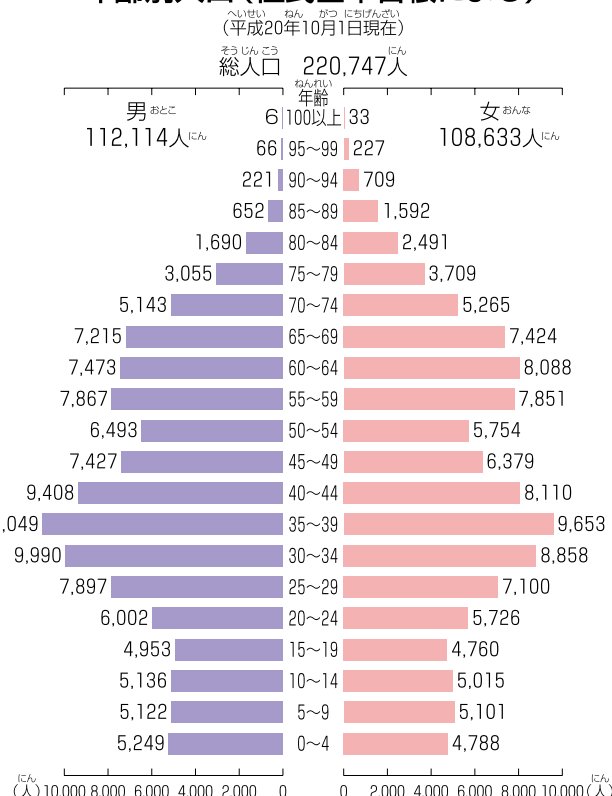
大和市は神奈川県ほぼ中央部に位置し、都心から40km圏内にあります。市域は南北に細長く、丘陵起伏がほとんどありません。鉄道は市の中央部を東西に相模鉄道本線、南北に小田急江ノ島線が走り、北部には東急田園都市線が乗り入れ、市域に8駅があります。また、道路網も国道16号、246号および467号のほか県道4線が縦横に走り、東名高速道路横浜町田インターチェンジにも近いなど、交通の利便性に恵まれています。

人口・世帯

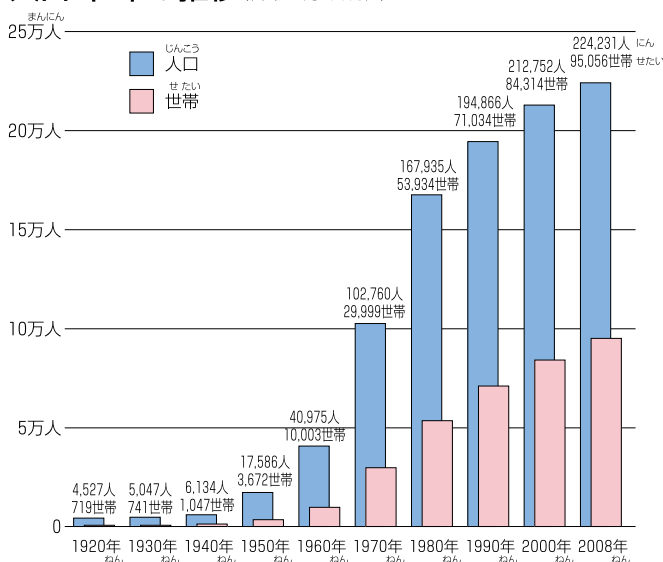
人口	224,231人	世帯数	95,056世帯
男 113,136人		人口密度	8,286人/km ²
女 111,095人			

(平成20年10月1日現在)

年齢別人口 (住民基本台帳による)



人口・世帯の推移 (各年10月1日現在)



だいじ 第8次 やまと し そう ごう けい かく 大和市総合計画
YAMATO CITY GENERAL PLAN 2009-2018

健康創造都市 やまと
けんこうそうごうとし

へんしゅう はんこう [編集・発行]

へいせい ねん がつ げっごう やまと し せいさく ぶ そう ごう せいさく かい 平成21年8月発行 大和市政策部総合政策課

〒242-8601 やまと し しもつま まい 1 ちょう め ばん 1 番 1 号 TEL 046-263-1111

<http://www.city.yamato.lg.jp>

し しょう 市章

(昭和28年11月3日制定)



躍進大和市の「大」の文字の全体を円形にかたどり、鳥が翼を広げたような形は大和市将来の円満な飛躍発展を表徴したものです。

し はな の 市の花／野ざく

(昭和44年2月1日制定)



し き やま 市の木／山ざくら

(昭和44年2月1日制定)



し とり 市の鳥／オナガ

(平成元年2月1日制定)



し の シンボルカラー 市のシンボルカラー

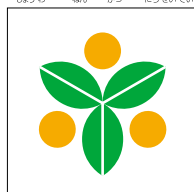
(平成元年2月1日制定)



市制30周年を記念して制定。若葉、新緑の色「若みどり」は、将来に向けて躍進する青年都市大和市を象徴する色として選ばれました。

ふく し ひ 福祉の日シンボルマーク

(昭和51年10月15日制定)



三つの円は国、市、住民と人間の和を、若葉はお互いの手を表現し、手を取り合い協力していこうという思いが込められています。

けん こう と し 健康都市シンボルマーク

(平成20年10月1日制定)



虹は、市民一人ひとりの輝く個性を、太陽は、個々の力が集まる強さとあたたかさを表し、健康と元気に満ちあふれる大和市を象徴しています。